

前回の編集後記(2022年3月)で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関して、「現在は第6波の真最中であり、2月18日現在、新規感染者数が減少傾向にあります。先行きは不透明です」と記載いたしました。その後、感染者数は順調に減少していきましたが、最近また急激に増加し、7月26日現在、第7波の真最中です。新たなオミクロン株であるBA.5への置き換わりが進んでいることが増加の1要因のようです。先行きは不透明ですが、1日も早く感染状況が収束に向かうことを祈念しております。

話は変わりますが、「アトピー性皮膚炎におけるヤヌスキナーゼ(JAK)阻害内服薬の使用ガイドランス」が日本皮膚科学会雑誌の2022年7月号に掲載されました。日本皮膚科学会アトピー性皮膚炎・蕁麻疹治療安全性検討委員会で作成しました。アトピー性皮膚炎の発症機序にはinterleukin(IL)-4, IL-13, IL-22, IL-31, thymic stromal lymphopoietin(TSLP)などの複数のサイトカインが関与することが知られており、JAK阻害内服薬はこれらのサイトカインのシグナル伝達経路を阻害することで、アトピー性皮膚炎に対して効果を発揮すると考えられます。

アトピー性皮膚炎に対するJAK阻害内服薬は、2020年にJAK1/2阻害薬であるバリシチニブが適応拡大になったのを皮切りに、2021年にはJAK1阻害薬であるウパダシチニブが適応拡大され、同じくJAK1阻害薬であるアプロシチニブも保険適用され、2022年7月現在、3剤が使用可能となっています。これらの薬剤の使用に際しては、厚生労働省が作成した最適使用推進ガイドラインの内容を十分に理解し遵守することが求められています。

アトピー性皮膚炎に使用可能なJAK阻害内服薬にはそれぞれ特徴があり、薬剤選択にあたって考慮すべき点としては、薬剤の効果、安全性、対象患者の年齢、用法・用量などがあげられます。本ガイドランスは、アトピー性皮膚炎の診療に精通した皮膚科専門医が、個々の患者に応じてそれらの複数の要因を勘案し、JAK阻害内服薬を適正に使用することを目的として作成されました。投与前に行う問診・検査なども一覧表にしました。本ガイドランスの内容が皆様の日常診療に役立つことを祈念しております。

(佐伯秀久)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第64巻 第9号 8月号

2022年8月1日発行(毎月1回1日発行)
定価 3,080 円(本体 2,800 円+税 10%)

年間購読料金
定価 47,630 円(本体 43,300 円+税 10%)
[年間13冊(臨時増刊号、増大号を含む)の誌代]
[年間予約購読者に限り送料無料]

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165 [編集室直通]

TEL 03(3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。